

2021 年度実施概要

学校名

都城市立笛水小中学校

採択活動名

森とダム、海との関係を知ろう

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 海に親しむ活動	全学年	総合、生活
2. 海と川	全学年	総合、生活
3. 森や川・ダムと海とのつながりを知る	全学年	総合、生活
4. 海を守る	全学年	総合、生活

取り組みの概要

本校は宮崎県の内陸部、都城市の北部に位置しており、海と面していない地理的条件にある。校区内に大淀第一ダム、岩瀬ダムがあり、中学校校歌に「ダムの水とどろき落ちて 熱となり光とぞなり 輝く町とよもす機械」との歌詞があるなど、本校及び地域とダムとの深い関係がある。そこで、地域を知る学習の中で、笛水地区と海との関係を知ることを通して、海への興味・関心を高め、学習を通して、児童生徒たちの「思考力・判断力」「表現力」を高めることをねらいとしている。

1. 海に親しむ活動

(1) 海の生き物を探そう

- 鬼の洗濯岩の潮だまりに生息する海洋生物の採集活動を通して、海の動物や植物とふれあい、海への興味・関心を高めることができた。カニやエビ、ヤドカリ等をたくさん見つけることができ、宮崎県の海の豊かさを感じることができた。



2. 海と川を知る

(1) 水産試験場を見学しよう

- 宮崎県の海に生息する海洋生物のことや水産試験場ではどんな研究をしているのか学ぶことができた。



(2) 宮崎港の役割を学ぼう

- 港湾施設には、海で起こりうる自然災害から自分たちの生活を守る役割を担っていることを学ぶことができた。

(3) 地域の川の環境を調べよう

- 高崎地区を流れる高崎川の環境調査を行った結果、高崎川はきれいな川であることが分かり、このきれいな故郷の川を守っていこうという意欲を高めることができた。また、その環境を守るにはどのようなことができるか考えること



ができた。

3. 森や川・ダムと海とのつながりを知る

(1) 出の山水源地を調べよう

- ・ 内水面支場を見学し、チョウザメの養殖について学ぶことができた。また、水源地を実際に見ることで、森や川・ダムがつながっていることを実感することができた。

4. 海を守る

(1) 教室から深海探査につながろう

- ・ 深海無人探査機「ハイパードルフィン」からの中継映像や深海環境を理解するための実験、「新青丸」船上と陸上にいる研究員の解説などを通して、深海の世界が私たちとどのような関りをもっているか学ぶことができた。また、川や海の現在の環境について考え、海を守るために自分にできることを、それぞれが考えることができた。



活動中の写真

デジタルデータにて2~3枚の添付をお願いします。

(本ファイルへの貼り付け、別ファイルでの添付、どちらでも構いません)